



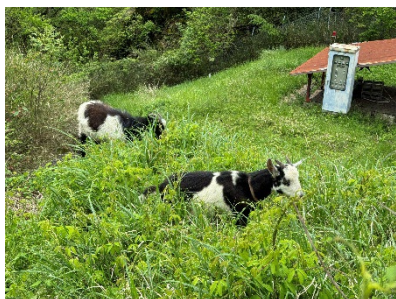
# ヤギの除草隊員が急斜面で活躍中！

## 施設の除草の省力化・脱炭素化のモデル実証試験をしています

市では、今年4月からヤギによる除草で施設管理の省力化と脱炭素化を目指すモデル実験を琴弾クリーンセンター跡地（養父市大屋町宮垣）で行っています。

モデル実証実験は、斜面での危険な除草作業の負担を軽減するとともに、刈払いに必要な化石燃料を減らすことで、温室効果ガスの排出削減を図るため、ヤギ2頭が除草するというもの。今年は、ヤギがどんな種類の植生を好むのか、どれくらいが適度な飼養範囲になるのかを検証し、次年度以降の導入の是非や規模などを検討します。

5月30日（木）午前10時から正午、現地で担当課職員が対応しますので、ぜひ取材ください。



斜面をものもしないヤギの除草隊員



写真手前：人が大好き、草も大好き「リリちゃん（メス、2歳）」。  
写真奥：人は好きだけど警戒を怠らないオスの「アンディ（オス、2歳）」。

昨年6月、市では地球温暖化防止を目的として「2050ゼロカーボンシティ」を宣言し、カーボン・クレジットの販売による機運の醸成、公用車の一部に電気自動車を導入するなどの取り組みを進めています。

新たな取り組みとして、ヤギによる除草の省力化、脱炭素化のモデル実証実験を今年4月に開始しました。

施設管理のなかでも手間ひまがかかるのが除草作業です。特に中山間地域の養父市では管理が必要な施設が傾斜地にあることもあり、草丈が大きくなるほか病害虫・有害鳥獣のすみかになってしまうことも。

こうした施設での作業の安全性の確保と省力化、脱炭素化を含む持続可能な管理の仕組みづくりにテストモデルとしてヤギの除草隊員2頭を導入しました。

今後は、施設内・施設間を移動しながら各所の除草に取り組んでもらう計画です。

1. 実施期間 2024年4月22日～10月21日まで（6カ月）
2. 導入数： 2頭 オスの「アンディ」メスの「リリちゃん」の2頭（いずれも2歳）
3. 試験地の面積： 現在の試験地 700㎡ → 今後は場内の20,000㎡の敷地や他の施設へ
4. 試験への期待： 斜面での作業の負担軽減、経費の削減、化石燃料の使用削減

### 施設概要

1. 場所 琴弾クリーンセンター跡地（養父市大屋町宮垣、別添地図参照）
2. 敷地面積 約700㎡（放牧している柵内のみ）

### 問合せ

産業環境部 環境推進課 課長 田中正広 担当者:奥藤 啓 電話 079-664-2033